

MS Office 2007 の操作説明用動画教材の作成

総合情報基盤センター 技術補佐員 牧野 久美
教授 木原 寛

2007 年 3 月に、五福キャンパスの情報教育用端末室のすべての Windows PC に MS Office 2007 が導入され、教養教育の「情報処理」などで利用されることとなった。Office 2007 ではユーザインターフェースが一新され、従来の Office 2003 などとは使い勝手が大きく異なるため、利用者の戸惑いも大きい。そこで、教科書や教員による説明に加えて、学習者の自学自習によって習熟度の差を埋めることを目的とし、画面上の操作をそのまま記録し、説明を加えて Flash ムービー化した動画教材を作成した。

Flash ムービー化した動画教材の作成及び提示

Office 2007 のアプリケーションのうち、Word 2007, Excel 2007 及び PowerPoint 2007 の基本的な操作に関する教材を作成した。

Flash ムービーの作成には、PC 画面動画キャプチャソフト Adobe Captivate 2 を用いた。

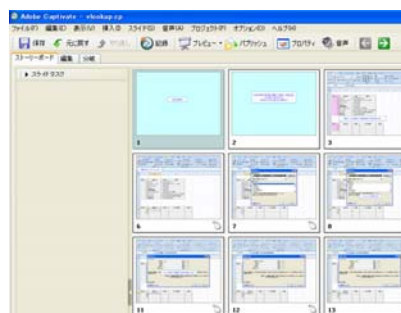
動画ムービーの作成と教材提示の手順は、以下の通りである。

- ① 教材のシナリオを作成する。
- ② Captivate を起動し、記録オプションでウィンドウサイズやマウスクリックの扱いなどの設定を行う。

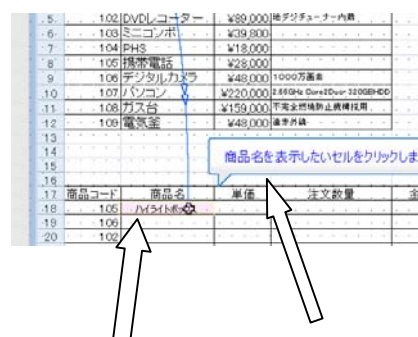
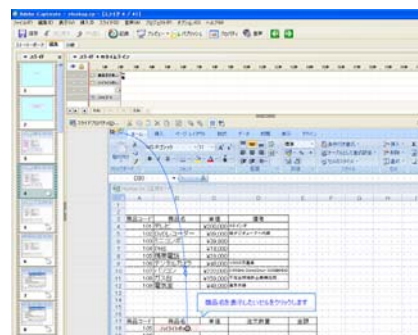


- ③ マウスやキーボードによる画面上の操作をキャプチャして記録する。

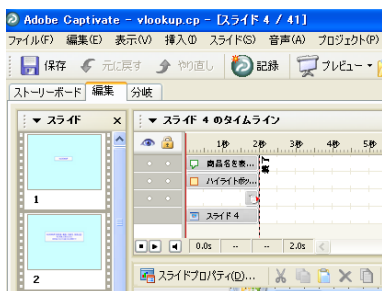
- ④ ストーリーボードで不要なスライド等を削除する。



- ⑤ 編集画面に切り替え、テキストキャプションやハイライトボックスの追加や修正を行う。さらに、各オブジェクトの表示のタイミングを調整したり表示オプションを適用して、より理解しやすくなるよう編集を行う。

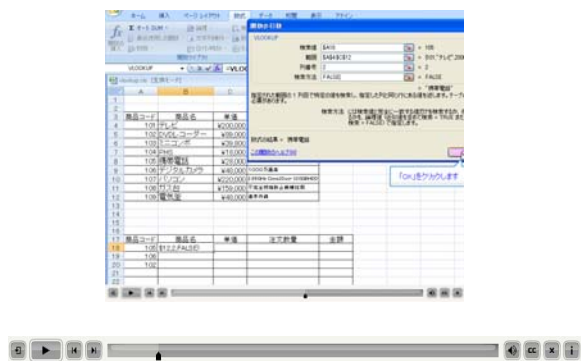


ハイライトボックス テキストキャプション



タイムラインによるオブジェクトのタイミングのコントロール

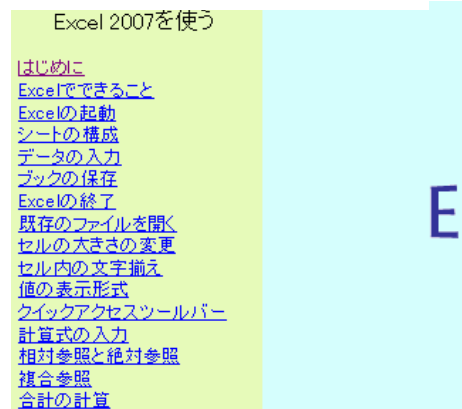
- ⑥ 画面構成に合ったデザインのコントローラを設定する。コントローラを使用することで、一時停止・再生・早送り・巻き戻しの操作が可能となっている。



- ⑦ プレビューして全体の流れを確認し、必要に応じてさらに編集を行う。
- ⑧ 編集が完了したら、ムービーをパブリッシュする。Flash (SWF) を選択し、出力オプションでHTMLの書き出しを設定する。



- ⑨ 各ムービーにリンクを張ったメニューページ (HTML ファイル) を作成し、動画が Web ブラウザ上で再生されるようにする。



- ⑩ 総合情報基盤センターの Web サイトにアップロードし、教材として公開した。¹⁾



まとめ

使用した学生に対してのアンケート結果からは、「自主学習に役立った」という評価が数多く得られた。

Adobe Captivate には、ナレーションなどの音声あるいは小テストをプロジェクトに追加する機能がある。これらの機能を活用し、より学習意欲を促進する、視覚的でインタラクティブな教材の開発を今後検討していきたい。

文献

- 1) <http://www.itc.u-toyama.ac.jp/e1/>